



RENAULT NISSAN MITSUBISHI

ルノー、日産自動車、テルアビブに 「アライアンス イノベーション ラボ」の新施設を開設

- イスラエルのスタートアップ企業とのユニークな協業やイスラエル革新庁 (IIA) との独占的パートナーシップを特徴とするラボ
- 自動運転向けセンサー、サイバーセキュリティ、ビッグデータに焦点をあて、米国・シリコンバレーと中国・上海にある他の共同イノベーションラボの活動を補完
- 現地のスタートアップ企業やパートナー企業とのオープンイノベーションを促進

ルノー、日産自動車は本日、テルアビブのアティディムパークに共同イノベーションラボの新施設を開設したと発表しました。新施設の開設により、現地のスタートアップ企業とのユニークな協業や、イスラエル革新庁との独占的パートナーシップを加速させることが可能になります。

「アライアンス イノベーション ラボ テルアビブ」は、自動運転向けセンサーやサイバーセキュリティ、ビッグデータに焦点を当てた活動を行っています。同ラボでは、現在、Apollo Power、Argus、AutoTalks、BrightWay Vision、Electreon、Enigmatos、IRP systems、Karamba、Moodify、Saferide、Upstream など、現地の様々な段階にあるスタートアップ企業と 10 件以上の共同プロジェクトを実施しています。

アティディムパークでは、その優れた立地により、最適な環境下でコンセプト検証を行うとともに、テルアビブのスマートシティ実験区域でプロトタイプを共同開発することが可能となります。1600 平方メートルの広さを持つ同ラボは、実車を使った技術検証のための空間と、近代的なオフィス空間をスタートアップ企業に提供します。

研究開発を担当するアライアンス副社長の山口豪は、「グローバルなイノベーションのハブ拠点であり、とりわけ自動車技術に強いイスラエルの地に、この新しい施設を開設することは、我々の活動を次の段階に進める上で自然な流れと考えています。これにより、イスラエルのスタートアップ企業のエコシステムの強みを活用できるようになります。最先端の技術を持つ将来有望なスタートアップ企業との協業を通して、我々は未来のモビリティに不可欠となる様々な主要技術を開発していきます。」と述べました。

開所式には、テルアビブ市長のロン フルダイ氏、イスラエル革新庁 CEO のアハロン アハロン氏、イスラエル交通省主任科学者のシェイ ソファー博士、交通・建設・インフラを担当するテルアビブ副市長のマイタル ラハーヴィ氏、テルアビブ大学地方自治体研究所代表のオーファー パインズ氏、フランス、日本、欧州連合のイスラエル駐在大使に加え、アティディムパーク CEO のサギ ニブ氏、テルアビブのスマートシティ区域である「シティゾーン」のディレクターを務めるギャビー カミンスキー氏、ルノーと日産の現地輸入業者であり、同ラボの支援者でもあるカラッソ モーターズ CCO のアヴィ ケニス氏など、パートナー企業各社が参加しました。アライアンスからは、研究・開発を担当するアライアンス EVP の山口豪、研究・開発担当アライアンス DEVP のガスパー ガスコン、研究・先行技術開発を担当するアライアンス SVP の浅見孝雄、アライアンス ベンチャーズで投資案件を担当するディレクターのクリスチャン ノスケ、先行技術担当のアライアンス グローバル ディレクターであるソフィ シュミートリンが出席しました。

「アライアンス イノベーション ラボ テルアビブ」のディレクターであるアントワン バスビルは、「この新施設の開設は、我々にとって特別なマイルストーンとなります。この地にラボを設立後、我々はイスラエルのエコシステムにおける取り組みを拡大させており、今回の件はその一環となります。イスラエル革新庁、テルアビブ市、テルアビブ大学とのパートナーシップにより設立した同施設が、スマートシティから技術領域まで、多岐にわたる包括的なモビリティエコシステムの構築に貢献していくことを確信しています。」と述べました。



RENAULT NISSAN MITSUBISHI

イスラエル革新庁が選定する「テクノロジカル イノベーション ラボ」に選定された同ラボは、スマートモビリティに特化した現地のスタートアップ企業に対し、コンセプト検証を行うための資金を提供します。

同ラボは、スタートアップ企業や設立後間もないテクノロジー企業、起業家などに5年間で10億ドルの投資を計画するアライアンスの戦略的ベンチャーキャピタルファンド「アライアンス ベンチャーズ」と緊密に連携しており、すでにイスラエルでは「マニブ モビリティ」に投資を行っています。

また同ラボは、アティディムパークで、スマートシティの実現を目指すスタートアップ企業向けに、実際の都市環境でのイノベーションエコシステムを提供する「シティゾーン」ともパートナーシップを結んでいます。

以上

ルノー・日産自動車・三菱自動車について

ルノーグループ、日産自動車、三菱自動車は世界最大の自動車アライアンスを結んでいます。また、多文化にまたがるパートナーシップとして、自動車業界の中で最長の継続期間と最高の生産性を誇ります。2018年には、パートナー各社合計で、世界約200ヶ国、1,070万台以上の車両を販売しました。3社は競争力強化のため、協業とシナジー最大化に注力しています。また、3社はドイツのダイムラー、中国の東風汽車などの自動車メーカーと戦略的な協力関係を結んでいます。本戦略的アライアンスは、ゼロ・エミッション車における業界リーダーであり、最新の先進技術を開発しながら、自動運転およびコネクティビティの機能やサービスを、手頃な価格の幅広い車種で提供していく予定です。

www.alliance-2022.com (英語サイトのみ)

media.group.renault.com (英語・フランス語サイトのみ)

newsroom.nissan-global.com

www.mitsubishi-motors.com/jp/newsrelease/